

【別紙 05】 中・大・多目的講義室デスクトップ PC、IC 発行用 PC

※ すべて同一機種で 7 台用意すること。ディスプレイは既存のアナログ RGB ディスプレイを利用する。なお、SE 室に設置する機種は一部指示が異なるので注意すること。

[ハードウェア]

- (1) 100×350×350 以内の寸法のデスクトップパソコンであること。
- (2) CPU は Core™ i5-9500 プロセッサ 相当以上であること。
- (3) 内蔵 SSD 256GB 以上であること。
- (4) メモリは 4GB 以上であること。
- (5) スーパーマルチドライブを有すること。
- (6) 1000Base-T / 100Base-TX 対応 LAN インターフェイスを内蔵 1 口以上有すること。
- (7) USB3.0 相当以上のインターフェイス (Type-A) を 4 口以上有すること。また、パソコン本体前面に 2 口以上有すること。
上記を含め、USB2.0 相当以上のインターフェイスを計 6 口以上有すること。
- (8) アナログ RGB 端子を 1 口以上有すること。
- (9) デジタル出力端子を 1 口以上有すること。
- (10) Φ3.5mm ステレオ対応の音声入出力端子を有すること。
- (11) 光学式 USB マウス (ホイール付) を有すること。
- (12) 日本語 109 (テンキー付) 有線キーボードを有すること。

[ソフトウェア]

- (1) OS は Windows 10 Pro (64bit) (日本語版) をインストールすること。
- (2) Microsoft Office Professional 2019 以上をインストールすること。
- (3) 内蔵スーパーマルチドライブで DVDvideo 再生・データ書き込みを可能とすること。
- (4) 以下の要件を満たすウイルス対策ソフトをインストールすること。
 - (ア) リアルタイムにウイルス検出、駆除、隔離が行えること。
 - (イ) Web アクセス時に、不正なサイトへ接続しようとした場合、アクセスをブロックする機能を有すること。
 - (ウ) 今回導入するウイルス対策管理ソフトで管理できること。
- (5) 以下のアプリケーションをインストールし、本学担当者の指示どおりに設定すること。
 - (ア) Adobe Reader
 - (イ) Lhaplus

[その他]

- (1) MAC アドレス、シリアル No、コンピュータ名の一覧を提出すること。

- (2) ソフトウェアの利用に「認証」が必要なものについては当該作業を完了した状態で納品すること。
- (3) BIOS 起動にパスワードロックが可能なこと。
- (4) 記憶装置のパスワード設定が可能なこと。
- (5) 中講義室 1、中講義室 2、中講義室 3、中講義室 4、大講義室、多目的講義室、SE 室に 1 台ずつ設置するとともに、SE 室を除く各部屋へ設置する機種については、それぞれの部屋に設置しているプロジェクターへの投影が可能であることを確認すること。
- (6) 本学担当者の指示に従って設置、設定、配線、動作確認、梱包物の撤去などをすべて行うこと。

[IC 発行用 PC]

- (1) SE 室に設置する PC を IC 発行用とし、以下の要件を満たすこと。
- (2) 以下の仕様を満たす IC カード (Felica) 印刷/発行プリンタを接続すること。
 - (ア) 全面カラー印刷が可能なこと。
 - (イ) 昇華再転写方式であること。
 - (ウ) 解像度 300dpi 相当以上であること。
 - (エ) 片面印字 約 36 秒/枚相当以上であること。(データ転送時間は含まない。)
 - (オ) 印刷と IC エンコードが同時に可能なこと。
 - (カ) USB2.0 で接続が可能であること。
- (3) 現在利用している IC カード (Felica) の書き換えが可能なこと。
- (4) 現在活用している IC カードを用いたサービス (情報処理教室への入室、情報処理教室での認証印刷) を利用する IC カードが印刷可能なこと。
- (5) 現在活用しているバーコードを用いたサービス (図書館の貸出) を利用する印刷が可能なこと。
- (6) 顔写真、イラスト、文字、数字を自由にレイアウト可能なこと。
- (7) 輪郭強調、明るさ調整などが可能なこと。
- (8) 1 枚発行、連続発行が可能なこと。
- (9) レイアウト時に登録した各フィールド項目 (番号、名前など) をデータベース化し、レコード検索が可能なこと。
- (10) 表面を印刷せず、データだけの書き込みが可能なこと。
- (11) 本学担当者に操作説明を行うこと。
- (12) 1,000 面以上の印刷が可能な量のインクリボン、転写フィルムを添付すること。
- (13) 既存の IC 発行システムソフトウェア (Card Creator) に登録されているデータを移行すること。